

# 母校で語るまちづくり

～群馬県立館林高等学校で講演させていただきました～

1 1月7日、群馬県立館林高等学校(以下、館林高校)で開催されたキャリア講演会にて、「まちづくりのリーダーシップ」をテーマにお話しをする機会をいただきました。



## 【群馬県立館林高等学校の体育館にて】

この講演会は、生徒の皆さんが自らの進路を主体的に考えるきっかけとなる場として企画されたものです。生徒や先生をはじめ

同窓会役員の皆様など、約600名を前にしての講演はたいへん身の引き締まる思いでした。また、館林高校は私にとって母校でありますから、特別な思いもありました。

講演ではまず、私のプロフィールや歩みを紹介し、なぜ町長になったのか、そして町長としてどのように町の財政を立て直し、発展を目指してきたのかについてお話ししました。町長に就任してからの財政状況の推移、税収をどう増やすか、町を活性化するために何が必要かを、実例を見てもらいながら説明しました。

また、就任後に取り組んできたプロジェクトや、コストコ誘致に至るまでの苦悩、そして、誰もが住みたくなる「オールインワンのまち」を目指す理由についてもお話ししました。町が発展するためには、ただ建物を建てる、道路を整備するのではなく、何を建てるかが重要です。どうして「コストコ」を誘致したかったのかをお伝えできたと思います。

そして、私は「失敗」を恐れてはいけないことを伝えました。失敗から学べ。失敗の隣には成功が座っている。必ず失敗から立ち上がれ！その立ち上がる姿に周囲からの信頼が生まれ、やがて成功する。大事な事は立ち上がる事。失敗から立ち上がれば成功



は直ぐそこにある。私の人生68年間は失敗の連続だったが、立ち上がったからこそ今があるのだと話しました。明和町の成功は果敢な駆引きと挑戦の成果であります。



さらに、未来を担う子どもたちのためにも、環境に配慮した取り組みは不可欠です。その一つとして、明和町ではLPGを活用したまちづくりについても紹介しました。

講演後は、質疑応答が行われ、たくさんの生徒から活発な質問をいただきました。

「都市計画の仕事に就きたいが、何が大切か」という問いには、人間関係や人脈の重要性をお伝えしました。また、「将来のために今から意識すべきことは何か」という質問には、失敗を恐れず挑戦し続ける姿勢こそが成功の鍵であると話しました。他にも、「高校時代の最大の失敗は？」「もし〇〇市の市長だったら？」など、考えさせられる質問からユニークなものまで、非常に楽しく有意義な時間でした。

今回、母校で話す機会をいただけたという名誉は、私にとって計り知れない財産となりました。改めて感謝申し上げます。





### 【生徒会長からの花束贈呈】

どうか、自分の可能性を信じて、失敗を恐れずに挑戦し続けてください。母校の卒業生として、館林高校の生徒の皆さんのすばらしい未来を心より応援しております。ありがとうございました。

**館高！館高！**

**ふるえ！ふるえ！ふるえ、館高生！**

令和7年11月30日

明和町長

**富塚もとすけ**